

第2回 現地調査報告書 石巻・志津川・塩釜

平成23年4月18日
(社)海洋水産システム協会

1. 調査趣旨

3月11日に発生した東日本大震災によって被害を受けた地域の造船所・関連産業に対し、今後の復興に向けた支援のため、現状把握と現地の要望等について聞き取りすべく、当協会訪問調査の第2陣として、石巻管内、志津川管内及び塩釜管内の調査を実施した。

2. 調査場所

石巻管内、志津川管内及び塩釜管内の被災造船所等

3. 調査者

長島 徳雄(専務)、野村 和正(設計部 主任技師) 計2名

4. 調査結果

(1) 日程と訪問実績

4月10日(日)	東京～宮城県古川市まで移動。(前日レンタカーに配布品等積込み)
4月11日(月)	石巻管内5箇所訪問実施 (株)ヤマニシ(面談者:遠藤専務、長倉取締役技術部長)於:仮事務所 日新興業(株)石巻出張所(面談者:中嶋所長、阿部所員) かもめプロペラ(株)東北営業所(面談者:今野所長) ・なお、 、 の面会はヤマニシ仮事務所にて行なった。 ・3社との面談後、ヤマニシ(造船所)の状況確認を長倉部長の案内で行った。 宮城ヤンマー(株)(面談者:浅野社長、佐藤専務) 八興漁業(株)(面談者:阿部社長)
4月12日(火)	志津川管内2箇所訪問 (有)志津川造船鉄工所(面談者:高橋社長) (有)大勝造船(面談者:千葉社長) ・面会場所がないので、大勝造船のワゴン車内で行なった。 塩釜管内1箇所訪問 東北ドック鉄工(株)仮事務所(面談者:平井社長) 石巻管内1箇所訪問実施 (株)石巻魚市場(面談者:須能社長)於:石巻市役所 3階 水産課
4月13日(水)	仙台市 宮城県農林水産部水産業振興課 訪問 仙台市内～>東京に移動。(協会で荷物降ろしレンタカー返車)

(2) 聞き取り結果(概要)

聞き取り内容の共通点は次のとおり。

石巻

- ・被害は甚大で、造船所の設備で使用可能な設備は殆どない。
- ・秋ごろの電源復旧を目指している。
- ・岸壁等の埋立地は液状化現象が起きている。
- ・海中に沈んだ船や瓦礫等があるため、業務開始のためにはまずはこれらの撤去作業が必要であるが、現在も海水内の捜索には手が付けられていない。
- ・対岸等に打ち上げられた船の撤去等についての具体策は、まだ無い。
- ・造船所の社員はすべて無事である。協力会社の社員が3名死亡、6名行方不明である。

志津川

- ・造船所の建物及び設備はすべて無くなっている。
- ・上架船台及び造船所は80cm程度地盤沈下している。(干潮時が以前のほぼ満潮時の水位である。)
- ・社員はすべて無事である。
- ・修繕船については漁港用地を利用して工事を行いたい。

塩釜

- ・比較的に被害が小さかった塩釜では、東北ドック鉄工(株)が早期の復旧が可能なように努力しており、通常業務を5月1日に開始する予定である。
- ・4月中旬～下旬にかけて全員出社に戻りたい。
- ・1号ドック(8,000DWT可能)のポンプは復旧し、ヘドロ除去により4月21日から使用可能の予定。
- ・水道、電気、ガスは4月中旬に戻る予定。通信はもう少しかかる。
- ・今まで付き合いのなかった、漁業者(サンマ、底曳)からの引き合いが多くなっている。

要望事項

- ・無利子、長期(30年、3年据え置き)の資金創設。(ヤマニシ)
- ・造船所地先の水路の早期復旧(ヤマニシ)
- ・漁港用地の空地等に共同の船台を設けて欲しい。(志津川地区)
- ・1日も早く、修繕だけでも始めて欲しいと船主から要望がある。(志津川地区)
- ・海中および敷地内の瓦礫物等の撤去(特にクレーン等が入れない場所の対策)
- ・電源が無いので、業務開始のために発電機が早く欲しい。

その他

- ・従来海外まき網等の修繕を行ってきたが今後、地元の船舶(漁船を含む)の受注に努めたい。(東北ドック鉄工)
- ・石巻底曳きプロジェクトは進めたいが、予定造船所や地域の流通・加工業界が被災したため、しばらく様子を見たい。(八興漁業)
- ・石巻に魚を揚げることに全力を傾注したい。計算・流通・加工の復旧が必要。(石巻魚市須能社長)

(3) 被災状況写真

- ・石巻管内 (ヤマニシ): 4月 11 日
- ・志津川管内 (志津川造船 ・ 大勝造船): 4月 12 日

以 上

ヤマニシ

聞き取り調査（ヤマニシ、かもめプロペラ、日新興業） 於：石巻メッセ館（ヤマニシ仮事務所）



リボузハウス（ドックハウス）



リボузハウス（ドックハウス）

2階までしか階段がないため、非常階段の踊場に各室の冷蔵庫等を積上げて屋上に避難したそうです。



総合事務所



総合事務所



総合事務所内



ドライドック横通路



ドライドック横通路



ドック内で水没した修理工事中の漁船（ドックゲートは流出した。）



奥に見える工場は修繕工場



組立定盤付近



修理岸壁の付近の漁船（第31日東丸）



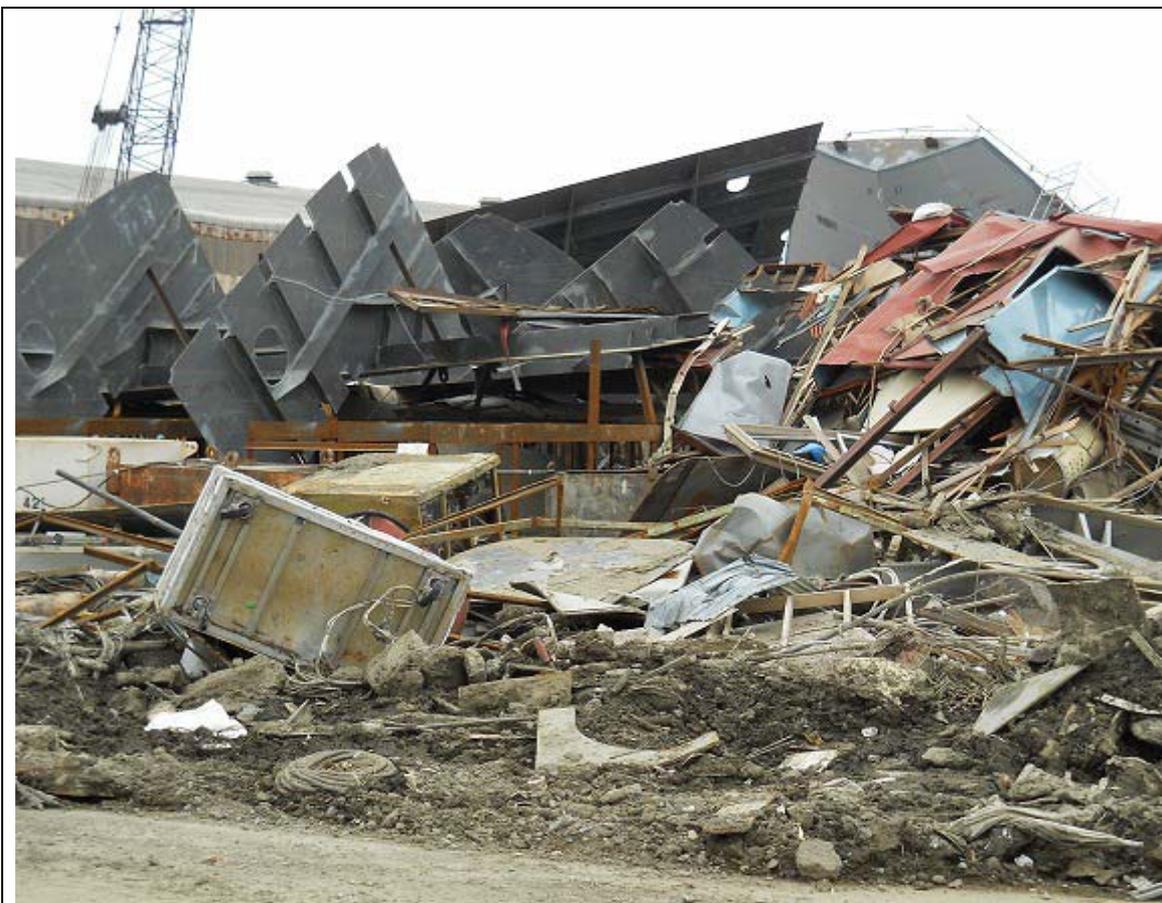
2号船台付近 ブロック置場から流出したブロック



流出し、曲がってしまったブロック



ブロック置場から流出したブロック



資材倉庫

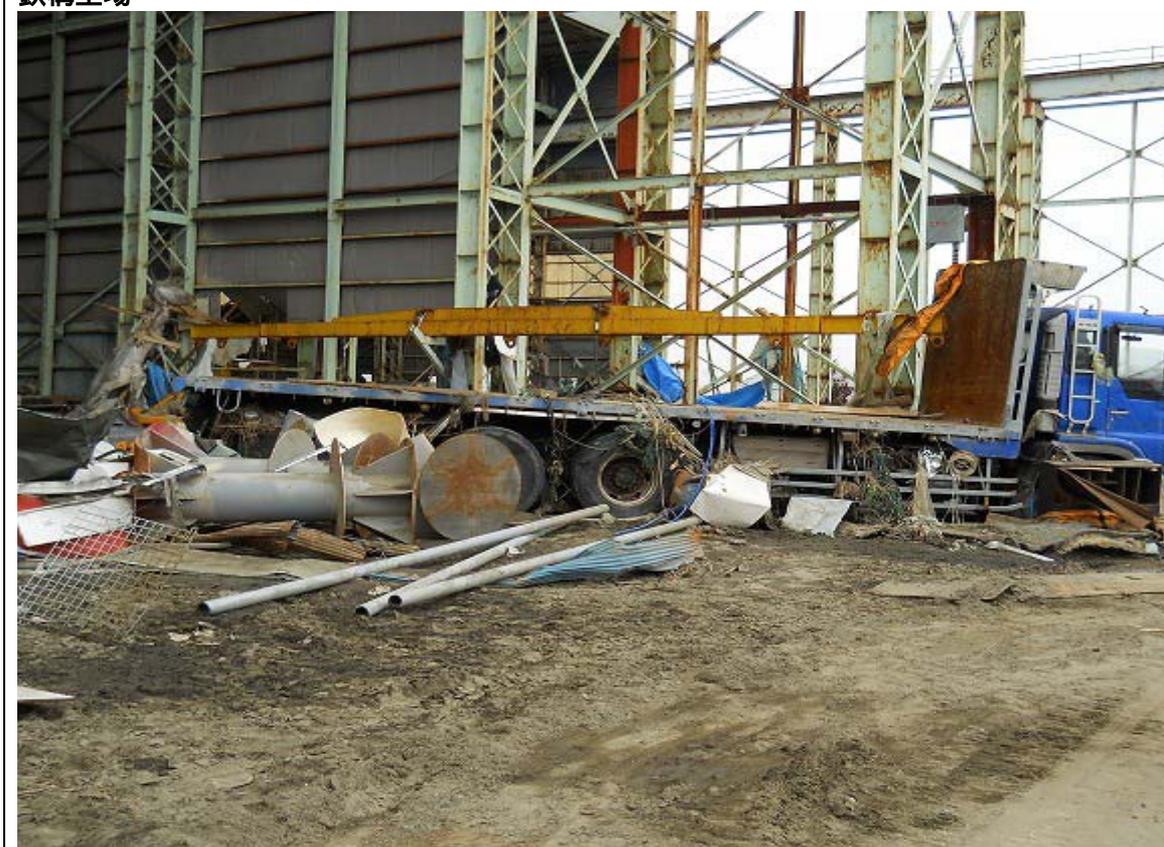
建造中の船用の購入品類の殆どはこの工場にある。



鉄構工場



鉄構工場



配管工場前



配管工場前



船舶内作工場



船舶内作工場（NC機：甲板切断機）



艦装岸壁付近（埋立地のため、液状化現象）



最近設置したビット（艦装岸壁の殆どのビットが係船した船と一緒に流出した。）



ユニオン定盤



艦装岸壁付近に水没した、宮城県漁業調査船『新宮城丸』



艦装岸壁対岸の堤防に及び売り上げた漁船 手前の船は山形県実習船鳥海丸の被代船
売却手続は震災前に済んでいる。



艦装岸壁対岸の堤防に及び売り上げた貨物船



志津川町

引揚げ船台（志津川造船及び大勝造船）



志津川漁業協同組合



志津川漁業協同組合の隣にある水産加工場



志津川漁業協同組合前の堤防の外側



志津川漁業協同組合前の堤防の外側



水産加工場付近の堤防内側



志津川市場



志津川市場



志津川市場付近から見た堤防及び住宅



大勝造船



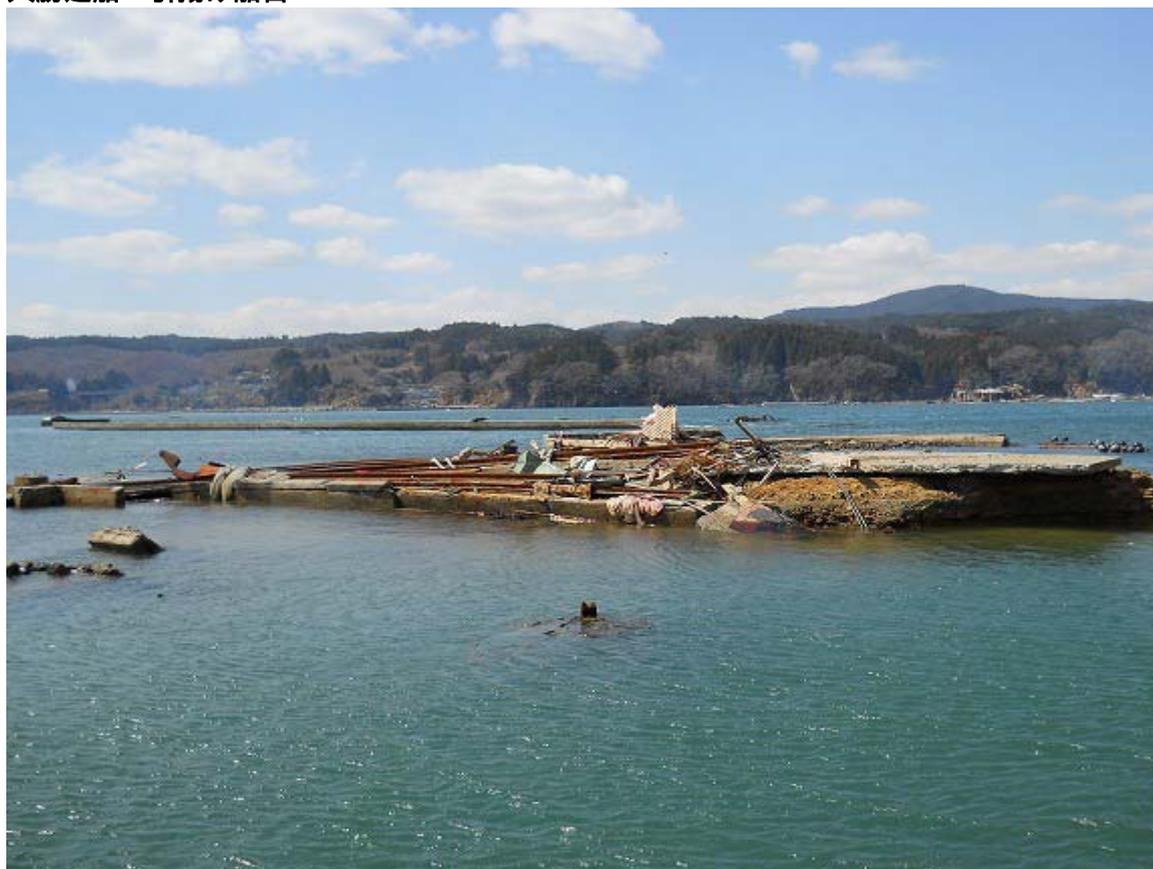
大勝造船



大勝造船



大勝造船 引揚げ船台



志津川造船



志津川造船



志津川造船 引揚げ船台



志津川造船、大勝造船を横から見る。



造船所後方の高台に FRP 漁船がある。



